

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成20年10月2日(2008.10.2)

【公開番号】特開2006-59360(P2006-59360A)

【公開日】平成18年3月2日(2006.3.2)

【年通号数】公開・登録公報2006-009

【出願番号】特願2005-236089(P2005-236089)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/048 (2006.01)

G 0 6 F 9/445 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/00 6 5 3 A

G 0 6 F 9/06 6 5 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月14日(2008.8.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

改良されたユーザインターフェイスを介して、ソフトウェアアプリケーションから機能を提供する方法であって、

前記ソフトウェアアプリケーションから使用可能な複数の機能を提供するステップと、

前記ソフトウェアアプリケーションによって実行される複数のタスクに従って前記複数の機能を編成するステップと、

前記ユーザインターフェイスにおいて、前記複数のタスクそれぞれに対応し、テキストで識別されるユーザインターフェイスタブを提供するステップと、

第 1 のユーザインターフェイスタブの選択指示を受け取った場合、前記ユーザインターフェイスにおいて、前記選択された第 1 のユーザインターフェイスタブに関連した第 1 のタスクの下に編成された複数の機能を選択するために、選択可能な複数のコントロールを提供するステップであって、前記選択可能なコントロールのそれぞれはグラフィック表現及びテキスト表現で提示される、ステップと、

を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記選択可能な複数のコントロールの 1 つの選択指示を受け取った場合、選択されているドキュメントオブジェクトに対して、前記選択可能な複数のコントロールのうち選択された 1 つに関連した機能を適用するステップを、さらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

テキストで識別される第 2 のユーザインターフェイスタブの選択指示を受け取った場合、前記ユーザインターフェイスにおいて、前記選択された第 2 のユーザインターフェイスタブに関連した第 2 のタスクの下に編成された複数の機能を選択するために、選択可能な複数のコントロールを提供するステップを、さらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記選択可能な複数のコントロールを、選択可能な複数のコントロールに関する複数の

論理グルーピングにグループ化するステップであって、それぞれの前記複数の論理グルーピングは、前記選択されたユーザインターフェイスタブに関連した機能のサブセットに関連づけられるステップを、さらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

選択可能なコントロールに関する前記複数の論理グルーピングの 1 つの選択を受け取った場合、前記選択された論理グルーピングに関連した追加機能コントロールを提供するために、第 2 のユーザインターフェイスを選択的に展開する詳細タブを提供するステップを、さらに含むことを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記詳細タブを提供するステップは、選択されたドキュメントオブジェクトに対して現在適用されている前記選択された論理グルーピングの下に編成されている機能を識別する情報を提供するために、第 2 のユーザインターフェイスを選択的に展開する詳細タブを提供するステップを含む、ことを特徴とする請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

所定の論理グルーピングに関する選択可能なコントロールを表示する十分な空間が前記ユーザインターフェイスにない場合、前記所定の論理グルーピングの下にまとめられている前記選択可能なコントロールにアクセスするために、前記所定の論理グルーピングを選択可能な単一のコントロールに折り畳む、ことを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 8】

前記選択可能な単一のコントロールの選択を受け取った場合、前記所定の論理グルーピングの下にまとめられている前記選択可能なコントロールのメニューを提供するステップを、さらに含むことを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

所定の論理グルーピングに関する選択可能なコントロールを表示する十分な空間が前記ユーザインターフェイスにない場合、前記複数の論理グルーピングそれぞれを前記ユーザインターフェイスに表示することができるまで、前記複数の論理グルーピングそれぞれの表示サイズを減少させる、ことを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 10】

前記論理グルーピングの前記表示サイズを減少させるために、所定の論理グルーピングにまとめられている選択可能な個々のコントロールのレイアウトを整列し直すステップを、さらに含むことを特徴とする請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記論理グルーピングの前記表示サイズを減少させるために、所定の論理グルーピングにまとめられている選択可能な個々のコントロールの表示を修正するステップを、さらに含むことを特徴とする請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

第 2 のユーザインターフェイスタブに対するマウスオーバフォーカスの指示を受け取った場合、前記ユーザインターフェイスにおいて、前記第 2 のユーザインターフェイスタブに関連した第 2 のタスクの下に編成された複数の機能を選択するために、選択可能な複数のコントロールを提供するステップと、

前記第 2 のユーザインターフェイスタブに対する前記マウスオーバフォーカスが中断した場合、前記ユーザインターフェイスにおいて、前記第 1 のユーザインターフェイスタブに関連した前記第 1 のタスクの下に編成された複数の機能を選択するために、前記選択可能なコントロールを提供するステップと、
をさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 13】

前記ユーザインターフェイスにおいて、第 2 のタスクの下に編成された複数の機能を選択するために、選択可能な複数のコントロールを提供するステップの後に、第 2 のタスクの下に編成された複数の機能を選択するために、前記選択可能な複数のコントロールの 1 つの選択指示を受け取るステップと、

選択されたオブジェクトに対して前記選択されたコントロールに関連した機能を適用するステップと、

前記ユーザインターフェイスにおいて、第2のタスクの下に編成された複数の機能を選択するために、選択可能な複数のコントロールを提供し続ける前記第2のユーザインターフェイスタブが選択されない場合、前記ユーザインターフェイスにおいて、前記選択された第1のユーザインターフェイスタブに関連した前記第1のタスクの下に編成された複数の機能を選択するために、前記選択可能な複数のコントロールを提供するステップと、をさらに含むことを特徴とする請求項12に記載の方法。

【請求項14】

選択可能なコントロールからなる前記複数の論理グルーピングの1つの選択を受け取った場合、前記選択された論理グルーピングに関連したソフトウェアアプリケーション機能についての情報を提供するために、ツールティップダイアログを提供するステップを、さらに含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項15】

ソフトウェアアプリケーションから機能を提供する改良型ユーザインターフェイスを提供するためのコンピュータで実装された方法であって、前記ユーザインターフェイスは、

前記ユーザインターフェイスの上方の行に配置された複数のタブであって、それぞれの前記タブは前記ソフトウェアアプリケーションによって実施されるタスクを識別し、テキストで識別され、タブが選択されると選択されたタブに関連した選択可能な複数の機能コントロールを、前記ユーザインターフェイスに表示させるように動作可能である複数の複数のタブを備え、

前記選択可能な複数の機能コントロールは、前記複数のタブの前記配置の下の行に配置されており、それぞれの前記機能コントロールは、選択されたオブジェクトに対して前記ソフトウェアアプリケーションの関連機能を適用させるように動作可能であり、グラフィック表現及びテキスト表現によって提示され、

前記選択可能な複数の機能コントロールは、前記ユーザインターフェイスにおいて複数の論理グルーピングに編成されて表示され、前記複数の論理グルーピングそれぞれは、選択されたタブに関連したタスクの一部に従って、選択されたオブジェクトに適用することができる前記ソフトウェアアプリケーションから入手可能な機能のサブセットに関連づけられる、

ことを特徴とする方法。

【請求項16】

所定の論理グルーピングの下で展開可能な詳細タブを表示するステップをさらに備え、前記詳細タブが選択されると、前記選択された論理グルーピングに関連した追加機能コントロールを提供するために第2のユーザインターフェイスを表示させる、ことを特徴とする請求項15に記載の方法。

【請求項17】

前記詳細タブが選択されると、選択されたオブジェクトに現在適用されている前記選択された論理グルーピングの下に編成されている機能を識別する情報を提供するために、前記第2のユーザインターフェイスを表示させる、ことを特徴とする請求項16に記載の方法。

【請求項18】

コンピュータによって実行されると、改良型ユーザインターフェイスを介してソフトウェアアプリケーションから機能を提供する方法を実施するコンピュータ実行可能命令を含んだコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、前記方法は、

前記ソフトウェアアプリケーションから入手可能な複数の機能を提供するステップと、前記ソフトウェアアプリケーションによって実施することができる複数のタスクに従って前記複数の機能を編成するステップと、

前記ユーザインターフェイスにおいて前記複数のタスクそれぞれに対応し、テキストで識別されるユーザインターフェイスタブを提供するステップと、

第 1 のユーザインターフェイスタブの選択指示を受け取った場合、前記ユーザインターフェイスにおいて前記選択された第 1 のユーザインターフェイスタブに関連する第 1 のタスクの下に編成された複数の機能を選択するために、選択可能な複数のコントロールを提供するステップであって、前記選択可能なコントロールのそれぞれはグラフィック表現及びテキスト表現で提示される、ステップと、
を含むことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 19】

前記選択可能な複数のコントロールのうち 1 つの選択指示を受け取った場合、前記選択可能な複数のコントロールに関する前記選択された 1 つに関連した機能を、選択されているドキュメントオブジェクトに対して適用するステップを、さらに含むことを特徴とする請求項 18 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 20】

テキストで識別される第 2 のユーザインターフェイスタブの選択指示を受け取った場合、前記選択された第 2 のユーザインターフェイスタブに関連する第 2 のタスクの下に編成された複数の機能を選択するために、前記ユーザインターフェイスにおいて選択可能な複数のコントロールを提供するステップを、さらに含むことを特徴とする請求項 18 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 21】

前記選択可能な複数のコントロールを、選択可能なコントロールに関する複数の論理グルーピングにグループ化するステップであって、それぞれの前記複数の論理グルーピングは、前記選択されたユーザインターフェイスタブに関連した機能のサブセットに関連づけられるステップを、さらに含むことを特徴とする請求項 18 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 22】

選択可能なコントロールに関する前記複数の論理グルーピングのうち 1 つの選択を受け取った場合、前記選択された論理グルーピングに関連した追加機能コントロールを提供するために、第 2 のユーザインターフェイスを選択的に展開する詳細タブを提供するステップを、さらに含むことを特徴とする請求項 21 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 23】

前記詳細タブを提供するステップは、選択されたドキュメントオブジェクトに現在適用されている前記選択された論理グルーピングの下に編成されている機能を識別する情報を提供するために、第 2 のユーザインターフェイスを選択的に展開する詳細タブを提供するステップを含む、ことを特徴とする請求項 22 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 24】

所定の論理グルーピングに関する選択可能なコントロールを表示する十分な空間が前記ユーザインターフェイスにない場合、前記所定の論理グルーピングの下にまとめられている前記選択可能なコントロールにアクセスするために、前記所定の論理グルーピングを選択可能な単一のコントロールに折り畳む、ことを特徴とする請求項 21 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 25】

前記選択可能な単一のコントロールの選択を受け取った場合、前記所定の論理グルーピングの下にまとめられている前記選択可能なコントロールのメニューを提供するステップを、さらに含むことを特徴とする請求項 24 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 26】

所定の論理グルーピングに関する選択可能なコントロールを表示する十分な空間が前記ユーザインターフェイスにない場合、前記複数の論理グルーピングそれぞれを前記ユーザインターフェイスに表示することができるまで、前記複数の論理グルーピングそれぞれの

表示サイズを減少させる、ことを特徴とする請求項 21 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 27】

前記論理グルーピングの前記表示サイズを減少させるために、所定の論理グルーピングにまとめられている選択可能な個々のコントロールのレイアウトを整列し直すステップを、さらに含むことを特徴とする請求項 26 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 28】

前記論理グルーピングの前記表示サイズを減少させるために、所定の論理グルーピングにまとめられている選択可能な複数の個々のコントロールの表示を修正するステップを、さらに含むことを特徴とする請求項 27 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 29】

第 2 のユーザインターフェイスタブに対するマウスオーバフォーカスの指示を受け取った場合、前記第 2 のユーザインターフェイスタブに関連する第 2 のタスクの下に編成された複数の機能を選択するために、前記ユーザインターフェイスにおいて選択可能な複数のコントロールを提供するステップと、

前記第 2 のユーザインターフェイスタブに対する前記マウスオーバフォーカスが中断した場合、前記第 1 のユーザインターフェイスタブに関連する前記第 1 のタスクの下に編成された複数の機能を選択するために、前記ユーザインターフェイスにおいて前記選択可能な複数のコントロールを提供するステップと、
をさらに含むことを特徴とする請求項 18 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 30】

前記ユーザインターフェイスにおいて第 2 のタスクの下に編成された複数の機能を選択するために、選択可能な複数のコントロールを提供した後に、第 2 のタスクの下に編成された複数の機能を選択するために前記選択可能な複数のコントロールの 1 つの選択指示を受け取るステップと、

選択されたオブジェクトに対して、前記選択されたコントロールに関連する機能を適用するステップと、

第 2 のタスクの下に編成された複数の機能を選択するために、選択可能な複数のコントロールを提供し続ける前記第 2 のユーザインターフェイスタブが前記ユーザインターフェイスにおいて選択されない場合、

前記選択された第 1 のユーザインターフェイスタブに関連する前記第 1 のタスクの下に編成された複数の機能を選択するために、前記選択可能な複数のコントロールを前記ユーザインターフェイスにおいて提供するステップと、

をさらに含むことを特徴とする請求項 29 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 31】

選択可能なコントロールに関する前記複数の論理グルーピングのうち 1 つの選択を受け取った場合、前記選択された論理グルーピングに関連したソフトウェアアプリケーション機能についての情報を提供するためのツールティップダイアログを提供するステップを、さらに含むことを特徴とする請求項 18 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 32】

コンピュータによって実行されると、改良型ユーザインターフェイスを介して、ソフトウェアアプリケーションから機能を提供する方法を実施するコンピュータ実行可能命令を含むコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、前記命令は、

前記ユーザインターフェイスにおいて、前記ソフトウェアアプリケーションによって実施することができる複数のタスクそれぞれに対応して、テキストで識別されるユーザインターフェイスタブを提供するステップと、

第 1 のユーザインターフェイスタブの選択指示を受け取った場合、前記ユーザインター

フェイスにおいて、第 1 のタスクに関連した複数の機能を選択するために、選択可能な複数のコントロールを提供するステップであって、前記選択可能なコントロールのそれぞれはグラフィック表現及びテキスト表現で提示される、ステップと、

前記選択可能な複数のコントロールを、選択可能なコントロールの複数の論理グルーピングにグループ化するステップであって、前記複数の論理グルーピングそれぞれは、前記選択されたユーザインターフェイスタブに関連した機能のサブセットに関連づけられるステップと、

を含むことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 3 3】

前記選択可能な複数のコントロールの 1 つの選択指示を受け取った場合、前記選択可能な複数のコントロールに関する前記選択された 1 つに関連した機能を、選択されているドキュメントオブジェクトに適用するステップを、さらに含むことを特徴とする請求項 3 2 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 3 4】

第 2 のユーザインターフェイスタブの選択指示を受け取った場合、前記ユーザインターフェイスにおいて、第 2 のタスクに関連した複数の機能を選択するために、選択可能な複数のコントロールを提供するステップを、さらに含むことを特徴とする請求項 3 2 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 3 5】

所定の論理グルーピングの選択可能なコントロールを表示する十分な空間が前記ユーザインターフェイスにない場合、前記所定の論理グルーピングの下にまとめられている前記選択可能なコントロールにアクセスするために、前記所定の論理グルーピングを選択可能な単一のコントロールに折り畳む、ことを特徴とする請求項 3 2 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 3 6】

前記選択可能な単一のコントロールの選択を受け取った場合、前記所定の論理グルーピングの下にまとめられている前記選択可能なコントロールのメニューを提供するステップを、さらに含むことを特徴とする請求項 3 5 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 3 7】

所定の論理グルーピングの選択可能なコントロールを表示する十分な空間が前記ユーザインターフェイスにない場合、前記複数の論理グルーピングそれぞれを前記ユーザインターフェイスに表示することができるまで、前記複数の論理グルーピングそれぞれの表示サイズを減少させる、ことを特徴とする請求項 3 2 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 3 8】

前記論理グルーピングの前記表示サイズを減少させるために、所定の論理グルーピングにまとめられている選択可能な個々のコントロールのレイアウトを整列し直すステップを、さらに含むことを特徴とする請求項 3 7 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 3 9】

前記論理グルーピングの前記表示サイズを減少させるために、所定の論理グルーピングにまとめられている選択可能な複数の個々のコントロールの表示を修正するステップを、さらに含むことを特徴とする請求項 3 8 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。